

かめっ子だより No.203

令和8年3月2日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

今年は孤独じゃない！ ピンクシャツデー in 亀井小

2月25日(水)、亀井小学校ではピンク色のものを身に着けた児童会の子もたちが校門に立ち、登校してくる児童をあいさつで迎え入れていました。

保護者の皆様、「ピンクシャツデー」というのをご存知でしょうか？ 毎年2月の最終水曜日を「国際ピンクシャツデー」とし、いじめをなくそうと呼びかけるキャンペーンの日とされています。



2007年2月、カナダのある学校で、ピンクのシャツを着て登校した少年がからかわれて、いじめられました。それを聞いた上級生の2人がその日の放課後、75枚のピンクのシャツやタンクトップを購入し、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌朝、2人が校門でピンクのシャツを配ろうとしたその時、呼びかけに賛同した数百名の生徒が、ピンクのシャツやピンクの小物を身に着けて続々と登校してきました。2人の思いが一夜のうちに広まったのです。学校中がピンク色を身に着けた生徒たちであふれ、やがていじめは自然となくなりました。この出来事が地元メディアで取り上げられたことがきっかけで、「ピンクシャツデー」が生まれ、今では世界の約180の国や地域に広がっています。

去年は、私一人での行動でしたが、今年は、児童会の子が賛同してくれて嬉しい限りです。

カナダの学生たちは、いじめに対して言葉や暴力ではなく、ピンクのシャツを着て、いじめられた学生に連帯する思いといじめに反対する気持ちを行動で意思表示しました。いじめを見ても「逆に自分がいじめられたらどうしよう」と思い、見て見ぬふりをしてしまう人もいません。しかし、一人ではできなくても、この学校のように「いじめに反対だ」という気持ちをみんなと一緒に伝えることができるのです。もし、いじめが起きてしまったら、亀井小学校の子もたちには、カナダの学生のように「いじめに反対！」の気持ちを行動で示してほしいと思います。また、人の痛みが分かり、友だちだけでなく、どんな子に対しても優しい気持ちで接することができる人になってほしいと願っています。そうすれば、きっといじめはなくなるのではないのでしょうか。

